

## 市立学校施設の耐震診断結果・学校別一覧

(紋別市教育委員会)

学校名	棟名	竣工年度	構造	階数	新旧区分	耐震診断の実施	Is値	Ctu・Sd値 (S造～q値)	耐震診断の結果
紋別小学校	①教室棟	昭和54,56	RC	3	旧耐震	○	0.576	0.617	×
	②屋体棟	昭和54	S	1	旧耐震	○	0.193	q=0.592	×
	③別棟木造教室棟	昭和50	W	1	旧耐震	×			
潮見小学校	①正門側教室棟	昭和56	RC	3	旧耐震	○	0.581	0.543	×
	②管理棟	昭和56,57	RC	3	旧耐震	○	0.473	0.507	×
	③屋体側教室棟	昭和57	RC	3	旧耐震	○	0.808	0.577	○
	④屋体棟	昭和57	S	1	新耐震	-			-
南丘小学校	①管理棟	昭和44,45,46,52	RC	2	旧耐震	○	0.711	0.762	○
	②正門側西教室棟	昭和44	RC	2	旧耐震	○	0.968	0.733	○
	③屋体側東教室棟	昭和45	RC	2	旧耐震	○	0.566	0.552	×
	④屋体棟	昭和46	S	1	旧耐震	○	0.150	q=0.450	×
	⑤屋体側西教室棟	昭和52	RC	2	旧耐震	○	1.060	0.855	○
	⑥ボイラー棟	昭和54	CB	1	旧耐震	○	0.628	0.833	×
	⑦正門側東教室棟	昭和45	RC	2	旧耐震	○	0.947	0.678	○
元紋別小学校	管理・教室棟	平成2	RC	2	新耐震	-			-
	屋体棟	平成3	S	1	新耐震	-			-
小向小学校	管理・教室棟	平成18	W	1	新耐震	-			-
	屋体棟	平成18	S	1	新耐震	-			-
沼ノ上小学校	管理・教室棟	平成12	W	1	新耐震	-			-
	屋体棟	平成12	S	1	新耐震	-			-
渚滑小学校	①管理・教室棟	昭和48,50	RC	2	旧耐震	○	0.700	0.962	○
	②屋体棟	昭和53	S	1	旧耐震	○	0.360	q=1.110	×
上渚滑小学校	①管理棟	昭和46	RC	2	旧耐震	○	0.325	0.350	×
	②教室棟	昭和45	RC	2	旧耐震	○	0.475	0.512	×
	③ボイラー棟	昭和54	CB	1	旧耐震	○	耐震性は確保されている		○
	④屋体棟	昭和47	S	1	旧耐震	○	0.210	q=0.640	×
紋別中学校	木造教室棟	昭和60	W	1	新耐震	-			-
	管理・教室棟	昭和60,61	RC	3	新耐震	-			-
	屋体棟	昭和61	RC,S	1	新耐震	-			-
潮見中学校	管理・教室棟	平成3,4	RC	3	新耐震	-			-
	屋体棟	平成5	S	1	新耐震	-			-
渚滑中学校	特別教室棟	昭和42	RC	1	旧耐震	○	0.870	0.520	○
	管理・教室棟	平成9	RC	1	新耐震	-			-
	屋体棟	平成8	S	1	新耐震	-			-
上渚滑中学校	管理・教室棟	昭和35～42	W	1	旧耐震	×			
	屋体棟	昭和42	S,W	2	旧耐震	×			

## 「市立学校施設の耐震診断結果・学校別一覧」の説明

(紋別市教育委員会)

学校名	紋別市立小中学校の名称を記載しています。
棟名	耐震診断を実施した棟については全ての棟の名称を記載しています。 既に新耐震で建てられた建物、診断未実施の建物で複数棟ある場合、用途・構造毎にまとめ棟名称を記載しています。
竣工年度	竣工年度を記載しています。
構造	施設の構造区分を次のとおり略しています。 RC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造 CB:コンクリートブロック造 W:木造
階数	地上階数を記載しています。
新旧区分	新耐震基準施行(昭和56年)以前に設計が行なわれ、整備された建物を「旧耐震」、それ以後に設計・整備された建物を「新耐震」と記載しています。
耐震診断の実施	構造体に関する耐震診断の実施状況 (○:実施済 ×:未実施) を記載しています。
Is値	「Is値」(構造耐震指標値)は建築物の強度や粘りに加え、形状や経年劣化による建築物が保有する耐力を表す指標で、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表しています。
Ctu・Sd値 (S造～q値)	「q値」(保有水平耐力に係る指標)は、地震による水平方向の力に対して、建築物が対応する強さを表し、その値が大きいほど地震に強い建物といえます。 なお、校舎のRC造については「q値」に代わって「Ctu・Sd値」(建物形状等を考慮した耐震性能を表す数値)を算定しており、「q値」と同様にその値が大きいほど地震に強い建物といえます。
耐震診断の結果	<p>(1) Is値が0.6以上かつq値が1.0以上 (q値に代わりCtu・Sd値の場合は1.0を0.3) :大規模な地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い。</p> <p>(2) (1)及び(3)以外の場合 :大規模な地震に対して倒壊又は崩壊する危険性がある。</p> <p>(3) Is値が0.3未満又はq値が0.5未満(q値に代わりCtu・Sd値の場合は0.5を0.15) :大規模な地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い。</p> <p>国及び道では学校施設について、更に高い0.7以上のIs値を求めています。 このことによりIs値が0.7以上かつq値が1.0以上(Ctu・Sd値は0.3)を「○」とし、これ以外を「×」と記載しています。</p> <p>※建物の診断方法は2次診断で判定しておりますが、上渚滑小学校③ボイラー棟については一般的架構で無いため、現行建築基準法に合致しているか否かで判定しています。</p>